Mr. Bassman（ベースマン列伝） Vol.40

ジャズにおいてベース弾きとは、縁の下の力持ち、水先案内人といったやや日陰の存在。おまけに、ウッドベースなら持ち運びも大変･･･。だが、黙々とベースをウォーキングさせ、バンドをスイングさせることに魂を注ぐベースマンが、一度化けの皮を剥ぐともの凄い名演･名盤が生まれるのだ。このコーナーでは、そんなジャズ・ベースマンの偉業を称えるとともに、ジャズ・ベースの素晴らしさを伝えていきたい。

Howard Rumsey【ハワード・ラムゼイ】

Photo provided by The Los Angeles Jazz Institute

Profile

1917 年 11 月 7 日、米国カリフォルニア州ブロウリー生まれ。最初にピアノを始め、ドラムを経て大学時代にベースを手に取る。ヴィド・ムッソ、ジョニー・デイヴィスと活動後、スタン・ケントンの最初のバンドに参加。程なくして、スタン・ケントン楽団を去り、チャーリー・バネットとバーニー・ビガードと活動する。その後、少しの間音楽から離れ、49 年にウエストコースト在住のジャズメンを率いて、カリフォルニアのハーモサ・ビーチに佇む「ライトハウス」に出演し人気を博す。これを機にオールスターへと発展し、ライトハウス・オールスターズのリーダーとして活躍。「ライトハウス」は当時の若いジャズ・ファンが集まるメッカとして名所となり、ウエスト・コースト・ジャズ隆盛の基盤を築く。自己名義のオールスター作品も数多くリリース。72 年に独立すると、「ライトハウス」の程近い場所にあるレドンド・ビーチにジャズ・クラブ「コンサート・バイ・ザ・シー」を開き、多くのライヴ・アルバムをリリース、85 年頃までクラブ経営者としても活躍する等、ウエスト・コースト・ジャズ界の重鎮的存在となる。97 歳となった現在も健在で、2015 年 5 月に “The Los Angeles Jazz Institute” 主催のフェスティヴァルで、ハワード・ラムゼイをトリビュートする『Music for Lighthousekeeping』」に主賓として参加予定（下記参照）。

バンド・リーダー、クラブ経営者としても活躍したベースマン

ハワード・ラムゼイといえば、ベーシストと共にライトハウス・オールスターズのリーダーとして語られることが多いが、「ライトハウス」がジャズ・クラブとしてオープンしたのは 1949 年。当時ハワードはスタン・ケントン楽団を去った後で、バンドの仕事を探していた。

その時に偶然この「ライトハウス」の前を通りかかったハワード。「ライトハウス」はそれまでポリネシアン・スタイルのクラブだったが、48 年にオーナーがジョン・レヴィンに代わり、ハワードがそのジョン・レヴィンにジャズを演奏するのに最適なクラブだと助言する。

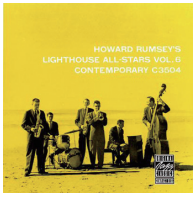
その助言通り、49 年 5 月に最初のショウでハワードが演奏したところ、瞬く間に人気が出て店は大繁盛。ハワードとバンドのメンバー達が専属として雇われることになった。この「ライトハウス」への出演のきっかけも、ハワードの経営者としての才能や閃きならではだろう。

HR's Great Albums

ライトハウス・オールスターズ名義作をはじめ、ここに紹介した作品以外のリーダー作やサイドマンとして参加したチェット・ベイカー、アート・ペッパー等の作品も聴いて欲しい。

サンデイ・ジャズ・ア・ラ・ライトハウス Vol.2
ハワード・ラムゼイ・ライトハウス・オールスターズ
（Original Jazz Classics : OJCCD-972-2）

ハワード率いるライトハウス・オールスターズの初期のライヴ音源を収めた名盤。1953 年録音。白熱の演奏に観客の熱気も伝わる。全 9 曲収録。

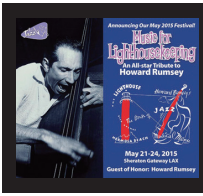


Vol.6
ハワード・ラムゼイ・ライトハウス・オールスターズ
（Original Jazz Classics : OJCCD-386-2）

ライトハウスが佇むハーモサ・ビーチで撮影されたジャケットも良く、オールスターズの作品群でも人気の高い作品。1955 年録音。全 9 曲収録。

アット・ラスト！
マイルス・デイヴィス&ザ・ライトハウス・オールスターズ
（ユニバーサルミュージック : UCCO-9420）

マイルス・デイヴィスがウエスト・コーストを訪れた際に飛び入りしたセッション音源。チェット・ベイカーの音源も収録。1953 年録音。全 5 曲収録。



ハワードが主賓で参加予定の
『Music for Lighthousekeeping』

An All-star Tribute to Howard Rumsey
May 21-24, 2015 Sheraton Gateway LAX
Guest of Honor: Howard Rumsey
(The Los Angeles Jazz Institute)